

医学部

医学部は医学科と看護学科から構成されています。医学科の6年間では医師になるための医学を中心に学びます。看護学科では4年間で看護師, 保健師, 養護教諭などの看護職（保健師, 養護教諭は選択制）になるための看護学を中心に学びます。

出張講義では, 医学, 看護学に関する話題を分かりやすくお話しします。ただ, 医学科においては個別の高校への出張講義は行っておりません。また, 看護学科においても実施できる期間が限定されています。そのため, 7月に県内の東予地区と南予地区で1回ずつ, 両学科による出張講義を予定しています。中予地区では, 重信キャンパス（東温市）において5月に医学祭, 8月にオープンキャンパスを開催し, その中で実施しています。

オープンキャンパスでは, その他に学部の様子, 医学科や看護学科での学習の詳細などを紹介しています。実際に医学部に在籍する学生と直接話のできるプログラムも用意しています。

これらの機会もぜひご利用ください。

医学部

講義番号	教員氏名	講義テーマ
1	医学部総合医学 教育センター教員	医学科で学ぶこと, 医学科で学ぶ前に考えて欲しいこと
2	看護系教員	看護学科で学ぶこと, これからの看護職者としての役割
3	乗松 貞子	看護における観察方法を学ぼう - 脈拍・心拍測定の演習をとおして -
4	陶山 啓子	幸せな高齢社会に向けて
5	田中 久美子 小岡 亜希子	訪問看護ってどんな仕事? - 住み慣れた地域で暮らし続けるために -
6	崎山 貴代	親と子の絆の形成を科学的に学ぶ
7	山内 栄子	がんとともに生きる, そのとき看護には何ができるのか

NO.1

【講義テーマ】 担当教員 医学部総合医学教育センター教員

医学科で学ぶこと、 医学科で学ぶ前に考えて欲しいこと

 講義時間 50分
 受講人数 制限なし

医師になるということとはどんなことなのでしょう？ そのために医学科ではどんなことを学ぶのでしょうか？そして医師を目指す高校生として、どんなことを考えておかなければならないのでしょうか？

この講義では、医学科1回生対象の講義をモデルとして模擬授業を行います。これは教員が教えるのではなく、皆さん自身に考えてもらう授業です。授業では皆さんの質問に答えつつ、幅広いテーマを扱います。例えば「医学の進歩によって人類はどのように幸福になったのだろうか？」「患者と医師との関係はどのようなものが理想的だろうか？」「地域で活躍する医師とはどのような医師だろうか？」あるいは「医学部の教員や学生はどんな研究をしているのか？すべきだろうか？」等です。テーマについて自らの意見を持ち、積極的に考えようとする生徒さんを歓迎します。

個別の高校への出張講義は行いませんが、7月に東予地区と南予地区で1回ずつ、両学科による出張講義を計画しています。この際、学校案内を別途行っています。その機会をご利用ください。中予地区は8月のオープンキャンパスをご利用ください。

 実施校において準備が必要なもの

NO.4

【講義テーマ】 担当教員 地域健康システム看護学 陶山 啓

幸せな高齢社会に向けて

 講義時間 50分
 受講人数 上限40人

みなさん御存じのように、我が国は世界一の長寿国です。この長い人生を最後まで豊かに暮らすためには、どうすればよいのでしょうか？

人は皆、歳をとります。そして、高齢になると病気や障害などで様々な不自由さを引き起こします。高齢者の方が体験する不自由さは、単に身体機能の低下による問題ではなく、社会のありようが大きく影響している場合があります。すべての人々が老いることについてもっと理解することが必要です。この授業では、医学だけでは克服できない「老い」ということについて、皆さんと一緒に考えたいと思っています。

 実施校において準備が必要なもの
 プロジェクター、スクリーン

NO.2

【講義テーマ】 担当教員 看護系教員(看護学科長、教務委員長ほか)

看護学科で学ぶこと、これからの看護職者としての

 講義時間 50分
 受講人数 上限40人

看護学科で学ぶことは、看護師になるということだけの学習ではありません。では、どのようなことを、どのように学ぶのでしょうか？

「看護」とは人々の健康な生活や幸せな人生を支えることを目標に、病める人々にはその苦痛を緩和し健康を回復するために、健康な人々にはより健康な生活を支援する機能を持ちます。看護学科で学ぶことについて、そして、看護の果たす機能や、これからの看護に対する展望を参加者の質問に答え、一緒に学びます。

講義実施期間については、看護学実習等で、教員が学外に出られる期間が限定されます。個別の学校への出張講義は、ご希望に添えない場合があります。7月に東予地区と南予地区で1回ずつ、両学科による出張講義を計画しています。この際、学校案内を別途行っています。その機会をご利用ください。中予地区は8月のオープンキャンパスをご利用ください。

 実施校において準備が必要なもの
 プロジェクター、スクリーン

NO.5

【講義テーマ】 担当教員 地域健康システム看護学 田中 久美子, 小岡 亜希子

訪問看護ってどんな仕事？ 一住み慣れた地域で暮らし続けるために一

 講義時間 50分
 受講人数 上限40人

多くの人たちは皆、住み慣れた地域で暮らし続けたいと願っています。住み慣れた地域で暮らし続けるためには、どうしたらよいのでしょうか？

ご高齢の方、病気や障がいを持った方は、生活する上で様々な不便がありますが、住み慣れた地域で暮らしたいと願う気持ちは皆、同じです。私たちが地域で暮らし続けるためには、地域住民がお互いに協力し専門職が援助する、皆が支えあう地域づくりがとても重要です。今回は、地域の人々を支える訪問看護師について、皆さんと一緒に学びます。

 実施校において準備が必要なもの
 プロジェクター、スクリーン

NO.3

【講義テーマ】 担当教員 基盤・実践看護学 乗松 貞子

看護における観察方法を学ぼう 一脈拍・心拍測定の実習をととして一

 講義時間 50分
 受講人数 上限40人

看護は観察から始まります。観察のためには、測定器具も重要ですが、自分の五感をフルに活用することも重要です。看護における観察の意味とその方法について学びます。

また、今回は、身体の生理的な機能の状態を示す、バイタルサイン(意識・呼吸・体温・脈拍・心拍・血圧)のうち脈拍・心拍測定を取りあげ、観察してみましょう。

 実施校において準備が必要なもの
 プロジェクター、スクリーン

NO.6

【講義テーマ】 担当教員 基盤・実践看護学 崎山 貴代

親と子の絆の形成を科学的に学ぼう

 講義時間 50分
 受講人数 上限40人

現代社会では「子ども虐待」「産後うつ」などの親と子を取り巻くニュースが飛び交っています。親と子の絆はどのように形成されるのでしょうか？何が絆の形成にかかわっているのでしょうか？

親子のスキンシップや授乳を通して分泌されるオキシトシンホルモンもその一役を担っています。科学的な視点を持ち親と子の絆について理解し、絆を支える方法について考えてみましょう。大切な役割をもつ助産師の仕事についても説明します。

 実施校において準備が必要なもの
 プロジェクター、スクリーン

〔講義テーマ〕 担当教員 基盤・実践看護学 山内 栄子

がんとともに生きる, そのとき看護には何ができるのか講義時間 50分
受講人数 上限40人

がんの罹患率は増加し、いまやがんは2人に1人がかかる病気となりました。しかし、がんの死亡率は減少しています。つまり、がんとともに生きる人が増えているということです。

がんという病気に自分が罹ったとき、大切な誰かが罹ったとき、人はどのように生きていくのでしょうか。がんとともに生きるということ、そしてそのとき看護には何が期待され、何ができるのかということ、皆さんと一緒に考えたいと思います。

実施校において準備が必要なもの
プロジェクター、スクリーン